

## 活動報告

団体名	日本ソーシャルワーク教育学校連盟中国・四国ブロック
活動名	愛媛県南予地方の災害ボランティアセンター運営を支援するための学生ボランティア活動
活動期間	2018/08/25～2018/09/15
活動の成果	<p>今回のボランティアでは、参加者に「災害ボランティア日誌」と「災害ボランティア実施アンケート」を提出してもらいました。日誌には、ボランティアを行った感想として「いろいろな人からねぎらいの言葉を頂き嬉しくなった」という感想が多く書かれていました。ただ、その一方で「まだボランティアが足りておらず、今後被災者が復興できるか不安」「まだまだニーズが多くあるのに、支援が行き届いていないのではないか」といった今後の活動に対する不安に対する意見も散見されました。また、この結果が「災害ボランティア実施アンケート」にも表れており、参加者の82%が活動終了後に「災害ボランティア活動に対する興味が高まった」と答えるなど、今後の継続したボランティア活動への期待が伺える結果となりました。</p> <p>また、社会福祉を学ぶ参加学生に対して「災害ボランティア実施アンケート」で活動によってどのようなソーシャルワークに関する知識・技術・価値を獲得したのかを尋ねたところ、被災者支援に入った学生は「被災者のニーズ把握」が最も多く、災害ボランティアセンター運営支援に入った学生は「ボランティアコーディネーション」と回答しており、福祉教育としての効果も見られました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>今回、愛媛県南予地方（宇和島市、大洲市）で災害ボランティア及び災害ボランティアセンター運営ボランティアを実施できたのは、共同募金から助成を受けてボランティアバスを出すことが出来たおかげです。本当にありがとうございました。四国の多くの学生たちの多くは、今回の西日本豪雨の被災地を気遣っており、「ボランティアに行きたい!」と思っけていても、なかなか被災地に入れないという状況が続いていました。特に西日本豪雨の被災地の中でも、愛媛県南予地方は被災地まで行く手段が特に乏しく、ボランティアバスを出す以外に多くの学生を被災地に送り込む手段はありませんでした。そのバスをチャーター出来たのは寄付をして下さった方々の協力があったからこそ可能となりました。</p> <p>参加学生は、今回のボランティア体験から学ぶことも多くあったようです。教員としても、貴重な学生の学びの機会となったことに対しても心より感謝申し上げます。</p>

(活動のようす)

